

日本一のブランド米をめざして

# つや姫だより



## 第1号

平成 22 年 4 月 9 日

庄内総合支庁農業技術普及課

今年は、「つや姫」が本格デビューする年です。

適切な栽培管理により、良食味・高品質な「つや姫」を栽培・出荷し、つや姫の銘柄を全国にアピールしていきましょう。

### ● 施肥・基肥

#### ○ 施肥

良食味・高品質・安定生産のため、基本的な施肥窒素量を示しました。

「つや姫」の慣行基準は、化学肥料由来の窒素量で 6.12kg/10a です。特別栽培農産物で「つや姫」を栽培する場合は、化学肥料由来の窒素量で 3.06kg/10a 以下での栽培となるので、施肥量には注意しましょう。

#### ○ 基肥

良食味・高品質・安定生産のため、初期生育確保を重視し、後半に持ち越さない施肥量を！

地力別の基本的な基肥窒素施用量を示しました。

リン酸・カリウムの不足が心配されるので、リン酸・カリウム量は、窒素と同量以上としてください。  
(単位:成分 kg/10a)

地力に合わせた基肥を！

地力	基肥			穂肥(出穂前 30~25日)	合計
	窒素	リン酸	カリウム		
3要素 中~低	4.0	3.0~4.0	3.0~4.0	1.5~2.0	5.5~6.0
高	3.0	3.0~4.0	3.0~4.0	1.5~2.0	4.5~5.0

### ● 堆肥

堆肥を施用した場合は、肥効分を基肥から減肥しましょう。

生育の後半に持ち越す（穂肥の時期に葉色が低下しない）ような、過剰な堆肥の施用は行わない。

地力	牛ふん堆肥	豚ふん堆肥	鶏ふん堆肥
堆肥の量(現物量/10a)	500kg	300kg	50kg
堆肥を施用した場合の減肥量(窒素成分/10a)	1kg	1kg	1kg

### ● は種・田植え

「つや姫」は、出穂・成熟期がコシヒカリ並と遅い品種なので、出穂の遅れを少しでも回避するため、5月10日前後からの田植時期で、一番最初に田植えを行ってください。

そのために、「つや姫」のは種も一番最初に行い、一番最初に田植ができるように作業計画を立てましょう。

本田作業が始まります。機械作業では十分に気をつけましょう。

**春の農作業安全運動実施中！**